

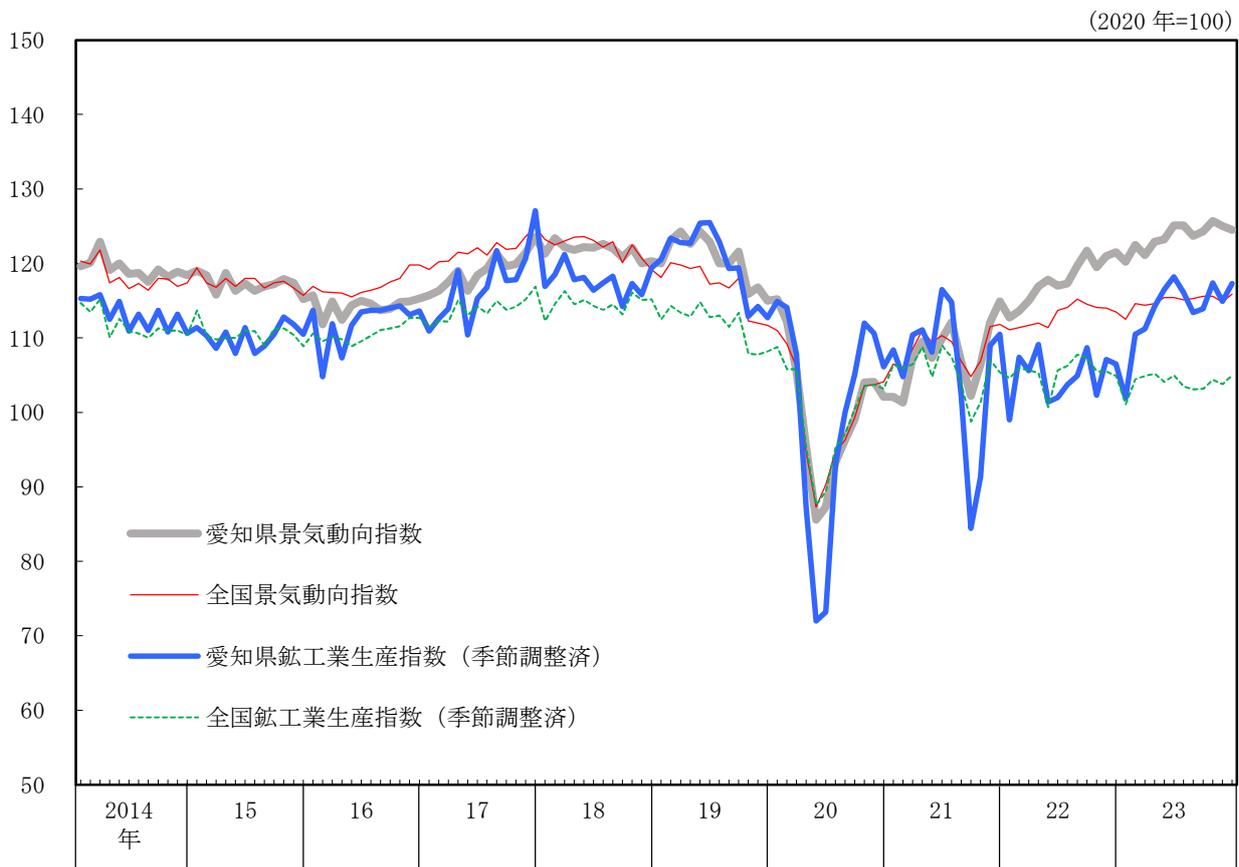
愛知県の景気と製造業の動向

愛知県は、日本の中央部に位置し、東京や大阪を結ぶ中間地点にあります。港湾や空港などの交通インフラも充実しており、部品や製品の輸送がスムーズに行われるため、効率的な生産が可能です。これらの要因から「モノづくり」の拠点として自動車関連産業をはじめとする製造業が発展してきました。ここでは、愛知県の景気と製造業の動向の関わりについて見ていきたいと思います。

1 景気動向指数と鉱工業生産指数の変動

景気全体の動きを示す景気動向指数と、景気の動きに敏感で製造業の動向を示す鉱工業生産指数の動きを見てみると、愛知県は全国に比べ、指数の変動幅が大きいことが分かります。(図表1)

図表1 景気動向指数と鉱工業生産指数



資料:愛知県統計課「愛知県景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」
愛知県統計課「愛知県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業指数」

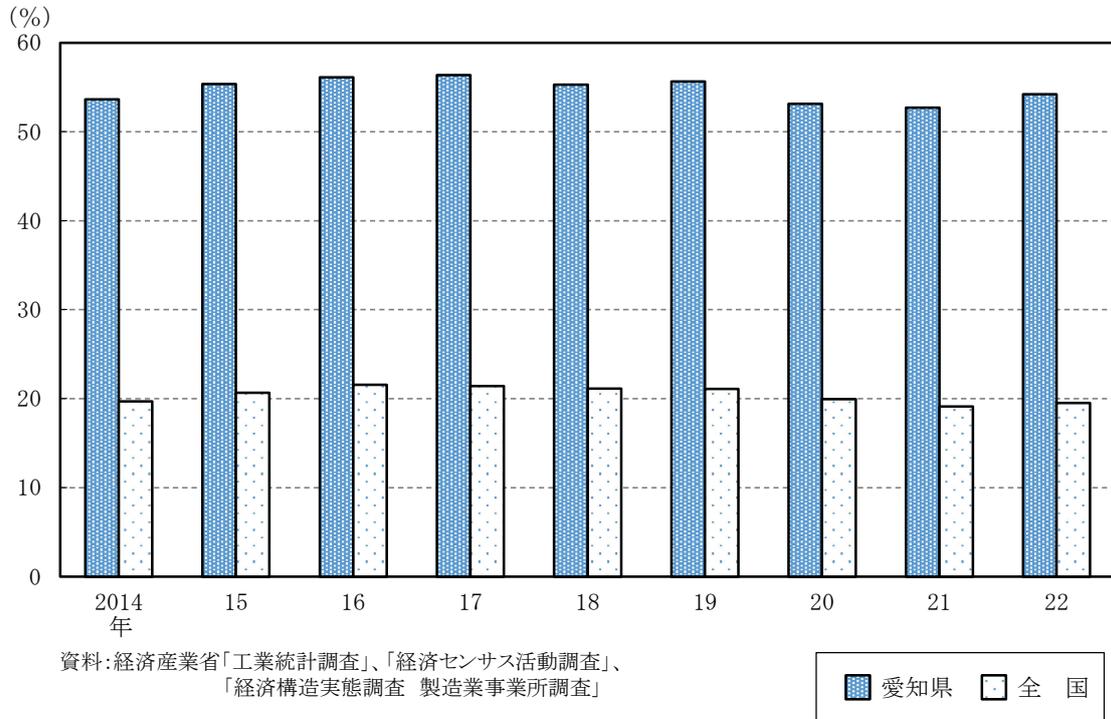
2 製造品出荷額等に輸送用機械が占める割合の推移と2022年の構成比

製造品出荷額等に輸送用機械が占める割合の推移を2014年から見てみると、全国が20%前後であるのに対し、愛知県は50%を超えており、2022年には全国の約2.8倍の約55%を占めました。(図表2)

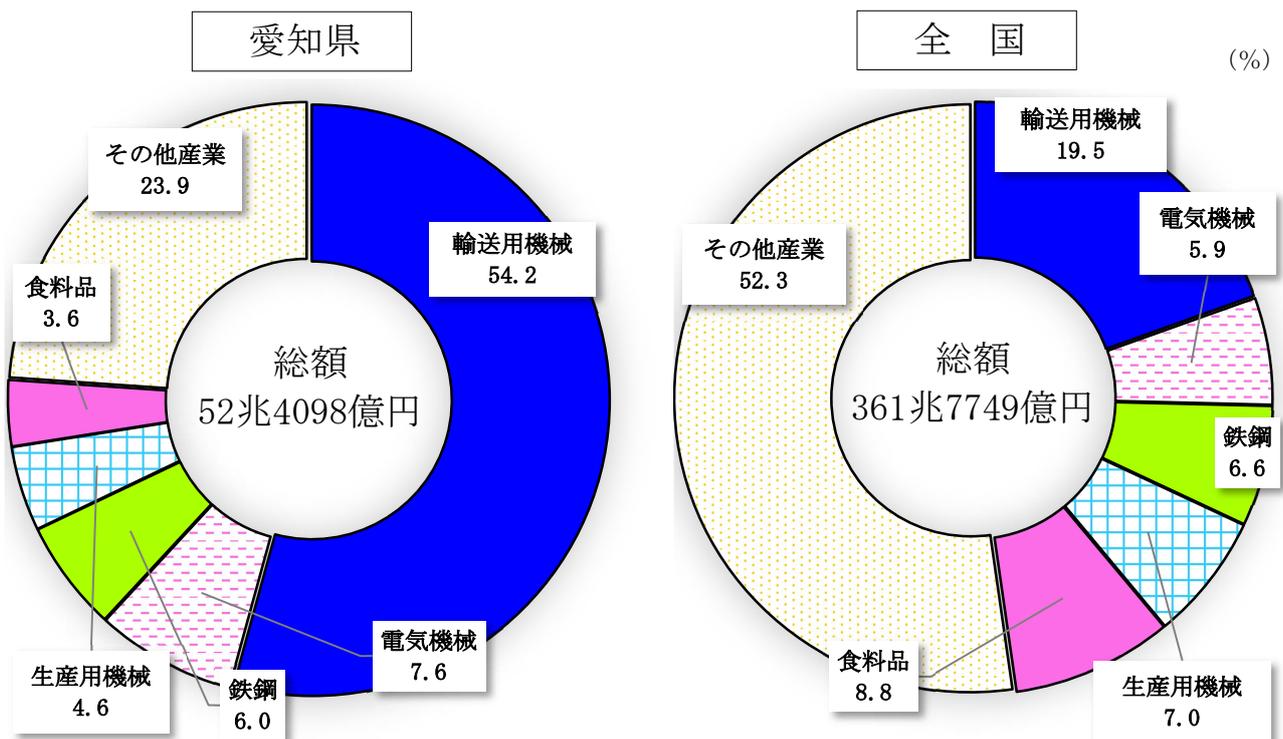
そこで、愛知県の2022年製造品出荷額等の構成比上位5業種を見ると、愛知県は輸送用機械をはじめ、自動車産業に関連が深い産業である電気機械、鉄鋼、生産用機械で7割以上を占めており、愛知県の経済は全国と比較して特に自動車関連産業に依存していることが分かります。

(図表3)

図表2 製造品出荷額等に輸送用機械器具製造業が占める割合



図表3 2022年製造品出荷額等の構成比



3 最新 10 年間の中で指数変動が大きかった 2020 年と 2021 年

図表 1 で示した 10 年間の中で、指数変動が大きかった 2020 年と 2021 年について、愛知県鉱工業指数の 2020 年におけるウェイト（鉱工業全体に対する構成比。生産においては、生産過程における付加価値額を基準）のうち上位 5 業種の中でも、特に輸送機械工業に注目して見てみます。

鉱工業生産は、2018 年以降の米中貿易摩擦による低調な状況に加え、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、世界各地で起こったロックダウンとそれに伴う操業停止により厳しい状況となりました。愛知県は輸出依存の高い自動車関連産業の業種が多いことから、鉱工業生産における輸出の割合が高く、月毎の生産指数の増減幅も全国に比べて大きく変動する傾向にあります。2020 年の中でも、特に 5 月は輸送機械工業が落ち込み、愛知県鉱工業生産指数が大幅に低下しました。（図表 1）

その後は、財政政策による下支え等や海外経済の回復の動きもあって持ち直す局面もあり、ワクチンの普及等により行動制限が緩和されました。一方で、国内自動車部品会社にとって海外生産拠点の集積地である東南アジアでの感染拡大の影響で現地工場が停止し、半導体やその他自動車関連部品の供給に支障が生じたことで生産調整を行い、輸送機械工業が低調な状況となる時期がありました。特に 2021 年 9 月は、2020 年 5 月同様に輸送機械工業が落ち込んだことで、愛知県鉱工業生産指数が大幅に低下しました。（図表 4、5-1、5-2）

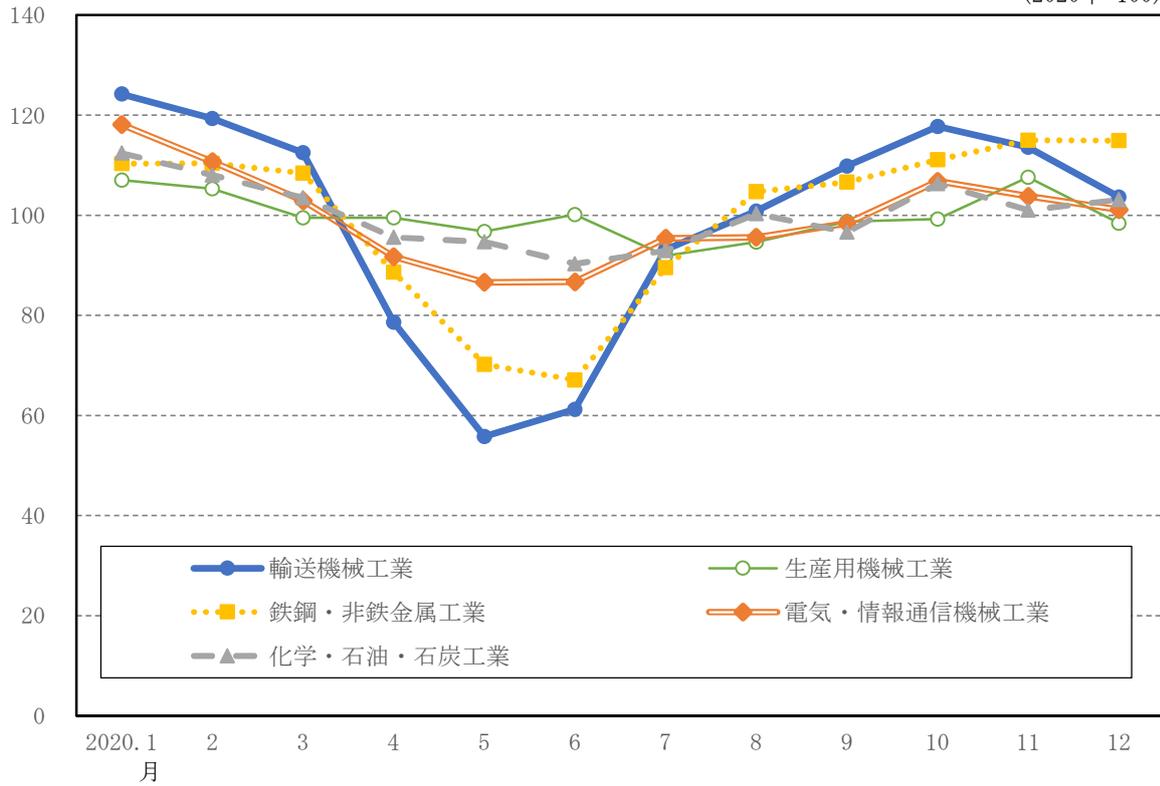
図表 4 2020 年におけるウェイト

| 名称 | ウェイト |
|--------------|--------|
| 製造工業 | 9999.7 |
| 輸送機械工業 | 3840.4 |
| 鉄鋼・非鉄金属工業 | 2314.2 |
| 化学・石油・石炭工業 | 963.3 |
| 電気・情報通信機械工業 | 532.3 |
| 生産用機械工業 | 401.5 |
| 窯業・土石製品工業 | 357.9 |
| プラスチック製品工業 | 304.3 |
| その他工業 | 279.5 |
| 汎用・業務用機械工業 | 271.5 |
| 食料品工業 | 245.5 |
| 金属製品工業 | 231.8 |
| パルプ・紙・紙加工品工業 | 111.1 |
| 繊維工業 | 78.7 |
| 電子部品・デバイス工業 | 67.7 |

資料：愛知県統計課「愛知県鉱工業指数」

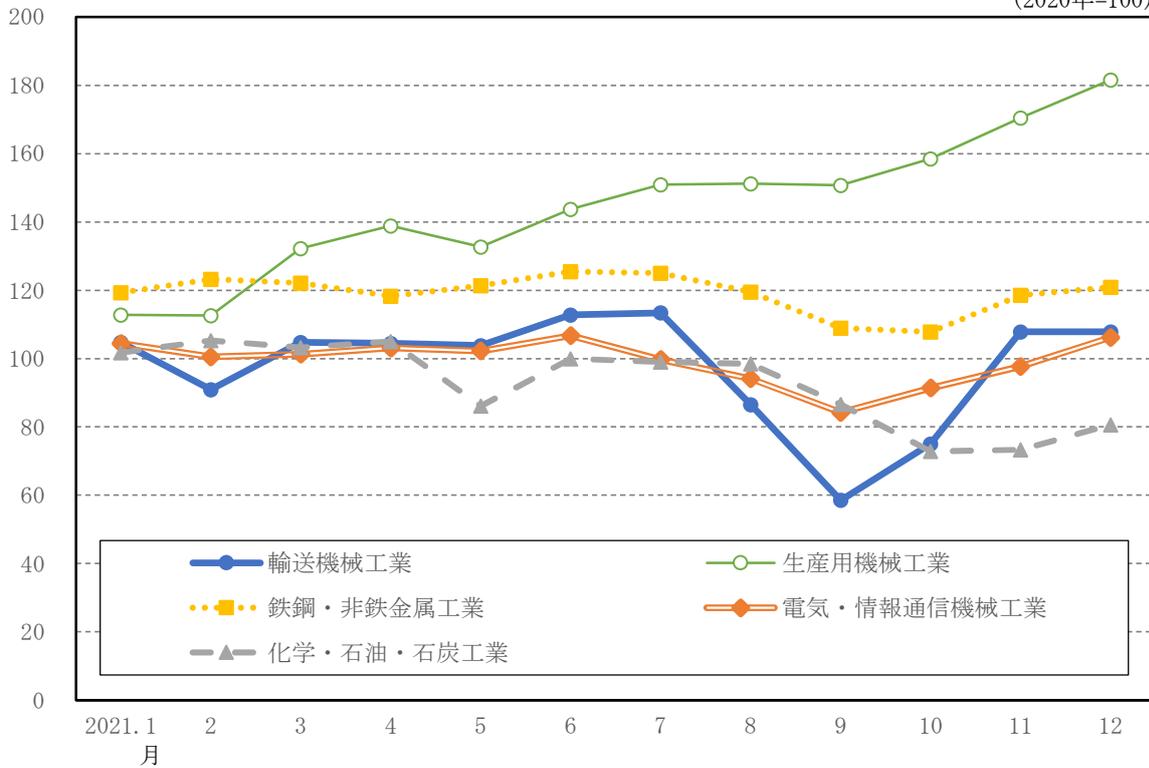
図表5-1 主要5業種の推移(2020年)

(2020年=100)



図表5-2 主要5業種の推移(2021年)

(2020年=100)



資料:愛知県統計課「愛知県鉱工業指数」

4 終わりに

コロナ禍による不況期では、愛知県は2020年5月や2021年9月のように全国以上の割合で鉱工業生産指数が低下する局面があり、同様に景気動向指数も低下しました。2023年に入ると、コロナ禍によるサプライチェーンの供給制約や世界的な半導体不足の改善、消費者需要の回復による後押し等もあり持ち直す動きが続きました。鉱工業生産指数と景気動向指数を見ると、愛知県はともに全国以上の割合で上昇し、自動車関連産業が多い愛知県は、全国以上に指数変動が大きいことが見て取れます。